

科目名	コンサートプロダクト2							年度	2026	
英語科目名	Concert Product 2							学期	後期	
学科・学年	コンサート・イベント科 イベント企画コース 1年次		必／選	必	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	濱野歩／山本璃空		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロデューサー、メディアクリエーター		
【科目の目的】 エンタメ業界スタッフ・イベントプランナーとしての基礎力を身につける。 イベント企画の基本構造（企画→計画→制作→告知宣伝→運営→効果検証）を理解し、実現可能な企画を完遂するスキルを身につける。										
【科目の概要】 ＜イベント企画コース＞ イベントの基本構造（企画→計画→制作→告知宣伝→運営→効果検証）を理解する。 実現可能な企画を立案し、参加者に評価をいただけるイベントとして運営するスキルを身につける。 企画書、プレゼンテーションなどの資料作成に必要なITツールを活用できるスキルを身につける。										
【到達目標】 A 企画アイデアを立案するための発想力を身につけ、アイデア出しに必要な手法を理解できる B 主催者や交渉相手に説明するために企画書を作成でき、プレゼンテーションを実施できる C 適切な実施計画を策定し、チームワークをとりながら制作進行することができる D ターゲットに対し適切なPRプランを策定し、マーケティングをもとに効果的な告知宣伝を行うことができる E 学内イベントや外部会場を使ったイベントの企画やブッキング、運営を行い、効果検証ができる										
【授業の注意点】 学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視しキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	アイデア立案の手法を理解し、優れたアイデアを考案できる		アイデア立案の手法を理解し、アイデアを考案できる		アイデア立案の手法を理解していない					
到達目標 B	アイデアを企画書にまとめ、聞き手が納得感のあるプレゼンテーションができる		アイデアを企画書にまとめ、プレゼンテーションすることができる		企画をプレゼンテーションにまとめることができない					
到達目標 C	適切な実施計画を策定でき、チームで協力しながら制作進行できる		実施計画を策定でき、制作進行できる		実施計画を策定できない					
到達目標 D	適切なPRプランを策定し、ターゲットに対し効果的なツールで告知宣伝できる		PRプランを策定し、告知宣伝できる		PRプランを策定できない					
到達目標 E	参加者から評価していたけようなイベントを運営できる		スケジュール通りイベントを運営できる		イベントを運営できない					
【教科書】 資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 ＊積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 ＊授業内容の理解度を確認するために実施する。 ＊グレードテストを定期的に行う。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

